

救命講習会を開催します

日時 9月9日(月)午後6時から午後9時
 場所 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
 内容 普通救命講習Ⅰ(心肺蘇生法、止血法、固定法、AED)
 申込 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
 (☎56-2119)まで連絡願います。
 締切 9月5日(木)まで

防災訓練を実施します

日時 9月28日(土)午前10時から
 場所 占冠中学校・占冠地域交流館
 対象 宮下・千歳・本通・占冠第一・占冠市街
 行政区にお住まいの方
 内容 大雨により河川の水位が増加。氾濫の危険性が高まり、住民の皆さんに避難勧告を発令するに至った事態を想定し、避難訓練を行います。詳細は、広報紙の折込チラシをご覧ください。



☎ 総務課総務担当
 ☎ 56-2121

防災用品を用意しましょう

- 飲料水・非常食(カップめん、缶詰、ビスケットなど)
- 預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など
- 救急セット(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬)
- ヘルメット、防災頭巾、マスク、軍手
- 懐中電灯、携帯ラジオ、電池、各種充電器
- 衣類、下着、毛布、タオル
- 洗面用具、使い捨てカイロ、ティッシュ類

占冠村防災情報メールにご登録を

気象情報や地震などの防災情報をお届けします。メール送信を希望される方は、「占冠村防災情報メール(bousai.shimukappu-vil@raidens3.ktaiwork.jp⇒QRコードを読み込み)」に空メールを送信してください。



村の各種情報をLINEで発信

村からの情報を発信しています。「LINE」のIDをお持ちの方であれば、どこでも村からの情報が確認できます。QRコードを読み込んでいただき、「占冠村」を友達登録してください。



河淵さんは、昭和57年に占冠消防団に入団しました。平成26年には消防団長に就任。今日にいたるまで地域を守るためにその先頭に立ち奮闘してきました。

「入団してから、最もひどかった災害は平成13年9月に発生した大水害。大変なことが起きてしまったと、現場では土嚢を積んだり、避難の誘導などで奔走したよ。死傷者がいなくて本当によかった。消防団は、火災や水害が発生したとき、危険な場所での作業も行わなければならないけど、自分の身を守れないと地域を守るのなんてできない。地域を守るのが自分たちの役割だが、団長として団員の命を守ることも考えない

といけない。」と河淵さんは語り、「災害がないに越したことはないが、発生する可能性は常にある。災害が発生したとき、被害を最小限に抑えられるように、私たちも日々の訓練に励みたい。消防団に所属している皆は、村民の皆が幸せに生活できる村であって欲しいと思って活動している。地域の防災に協力したい方は、ぜひ消防団に入団いただきたい。」と続けました。

消防団員は、ドクターヘリの誘導や、住宅・車両火災、水防活動など多岐にわたる活動と、定例訓練を行っています。消防団の活動にご興味があれば、富良野広域連合占冠消防支署(☎56-2119)にお問い合わせください。

皆が幸せに生活できる村であって欲しい。

占冠消防団長 **かわぶち えつし 悦司さん**

板金の加工や塗装、除雪作業、車庫の修繕など村内において多岐の業務に携わる河淵さん。普段は『かわさん』の愛称で、村民に親しまれています。

7月19日(金)、北海道消防操法訓練大会が江別市で開催されました。この大会に占冠消防団が出場。設置された防火水槽から給水し、火点と呼ばれる的にめがけて放水し、撤収するまでの一連の手順を行う小型ポンプ操法を披露しました。操法を披露した団員は5名。訓練の成果を発揮しました。



『地域を守る』という使命を胸に。

消防団の活動は消火だけではありません。消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ災害防衛活動を行います。消火活動はもちろんのこと、地震や風水害等の大規模災害時には多数の消防団員が出勤し、被害の拡大防止に活躍しています。

私事よりも、『地域の安全』を優先し活動する消防団員の皆様。大規模災害などの有事の際には、地域を守るために命がけで活動します。消防団員の皆様の献身的な努力があるからこそ、地域の安全は守られています。